

令和 8 年 7 月 3 1 日

国土交通省中部地方整備局

国土交通省九州地方整備局

浚渫兼油回収船「清龍丸」による支援物資の輸送（第 2 報）

～令和 8 年熊本地震に関する中部地方整備局・九州地方整備局の取り組み～

【八代港（熊本県八代市）にて、支援物資の荷降ろしを実施】

令和 8 年 7 月 2 8 日の熊本地震を踏まえ、緊急物資輸送等のために派遣した中部地方整備局の浚渫兼油回収船『清龍丸』は 8 月 1 日（土）八代港（熊本県八代市）に到着予定となりました。

さらに、8 月 1 日（土）には、被災地の皆さんに向けた支援物資の荷降ろしを実施します。

1. 荷降ろし場所・開始日時：

熊本県 八代港 外港地区岸壁（別紙参照）

8 月 1 日（土）10:00 予定

※状況に応じて開始時間は前後する可能性があります



全長 104m
総トン数 4,792t

浚渫兼油回収船「清龍丸」
（別紙参照）

2. 支援活動の内容：支援物資の引き渡し（荷降ろし）

支援物資の輸送（水、食料等）

・飲料水： 500ml × 約 4580 本

2000ml × 約 1560 本

・主食：アルファ米・レトルトパン 約 4,170 食

・副食：おかず（レトルト・缶詰）約 2,700 食

一般社団法人日本埋立浚渫協会、九州港湾空港建設協会連合会のご支援により支援物資を運搬する予定です。

3. その他

現地取材にあたり、別紙出入口付近にいる職員に声をかけてください。

【問い合わせ先】

中部地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課 : 052-209-6328

課長 西尾 賢二 、課長補佐 林 友弥

清龍丸 荷降ろし場所

別紙

八代港位置図



清龍丸係留場所：
八代港 外港地区岸壁

— 推奨ルート

⊗ 通行止め

清龍丸
係留場所・
荷降ろし場所

○ 出入口



くまモンポート八代

貯木場

新港町（二）

新港町（三）

新港町（四）

八代運動

終末処理場

【浚渫兼油回収船「清龍丸」】

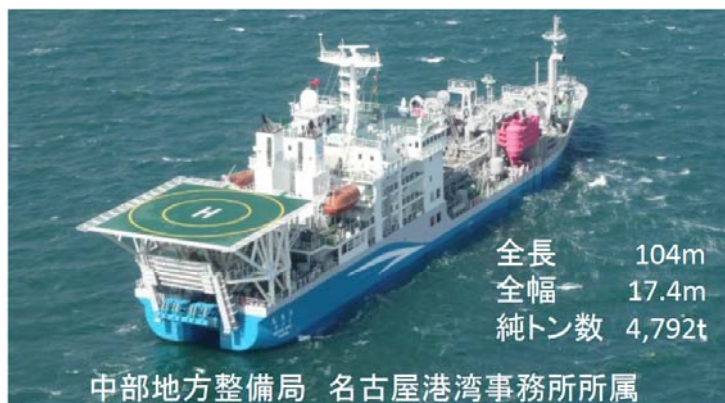
国土交通省では、全国に3隻の浚渫兼油回収船を保有しており、その1隻である「清龍丸」は、大規模油流出事故に備えるとともに、平時は名古屋港において航路や泊地の浚渫作業を行っています。

また、大規模な災害では、緊急支援物資の運搬や給水・入浴等の支援が可能な船であり、東日本大震災や西日本豪雨、平成28年の熊本地震でも支援を行っています。

浚渫兼油回収船「清龍丸」の概要

「清龍丸」の行う業務

- 通常は、航路、泊地等の浚渫作業。
- 高精度で平坦浚渫を可能とする幅広なセンタードラッグヘッドを装備。
- 大量油流出時には、速やかに流出現場に向かい、油回収作業。
・油の状況に応じた2種類の回収器を装備。
- 災害時の支援作業（災害情報収集、救援物資輸送、給水、電力供給等）。
- 情報収集・発信のための通信システムや防災要員・物資運搬等を目的としてヘリデッキを装備。



油回収タンクに約1時間で1,000kl（ドラム缶約5千本分）の油水を回収可能。

災害支援 災害支援機能

迅速な被災状況の把握、人員・物資輸送に対応可能。
ヘリコプターデッキや災害対策室、望遠カメラなど災害支援に必要な機器を装備。



ヘリコプターデッキ



災害対策室



高感度望遠カメラ

地震・豪雨災害への支援実績

清龍丸の活躍

緊急支援物資(食料品、飲料水、生活用品等)を海上輸送。
船のタンクからの給水支援、船内浴室を開放した入浴支援。

平成23年 東日本大震災

平成28年 熊本地震

平成30年 西日本豪雨



釜石港にて支援物資陸揚げ



大分港にて支援物資を陸揚げ



堺泉北港～呉港へ
支援物資を輸送



苫小牧港～大船度港へ輸送



三角港にて入浴支援



呉港にて入浴・洗濯支援